

PhonoSolar モジュールが PI-Berlin の PID テストに合格しました

PhonoSolar のモジュールが、PI-Berlin の PID (Potential Induced Degradation -出力劣化-) テストに合格しました。

その結果、PhonoSolar のモジュールは PI-Berlin 研究機関において **A級** の評価を受けました。(A級: テスト後の出力減衰率が 5% 未満の場合)

PI-Berlin 研究機関のテストでは、温度 85°C・湿度 85% の実験条件下で、連続 48 時間ものあいだ 1000 v の電圧を加えるテストを行います。

PhonoSolar では通常の自社試験基準を連続 96 時間という更に厳しい条件下の中でテストを行っています。

日々、製品に対する絶対的な信頼性を得るために行ってきた厳しい検査が、今回の PID テストでの結果に表れたのだと思われます。

この結果により、PhonoSolar のモジュールが高圧・高温・多湿な劣悪な環境下であっても、安定的な出力を提供できる高品質モジュールであることが証明できました。

PhonoSolar の袁氏は『昨今、PID の問題が注目される中、第三者のテスト機関を通し証明された PhonoSolar のモジュールの品質は、クライアントに対する 25 年間における出力の保証と、安定的な投資利益を提供できる製品である』と語っております。

PhonoSolar のモジュールは、北アメリカにおいて ETL1000 v 高圧認証登録を受けました。この認証で、PhonoSolar のモジュールがより高い高圧システムの太陽光発電所に適応できると証明されたことが、新聞で発表されました。

平成 24 年 11 月 30 日
株式会社ジョイコーポレーション
太陽光発電事業部